

温泉採取者の皆さんへ

温泉の源泉を採取している方は、毎年12月末日における源泉の状況を下記の温泉現況報告書により、報告いただいているところですが、本年も次の記入上の留意事項を参照の上、期日までに所轄保健所へ提出してください。

この報告書は、温泉の状況を表す貴重な資料となりますから、正確に記入してください。

なお、この報告書により収集する個人情報、法令又は条例に定めがある場合のほか、温泉行政上の資料としての目的にのみ使用します。

(記入例)

(温泉採取者の場合)

温泉現況報告書

年 月 日

長野県知事 殿

温泉採取者の住所
(個人にあっては、主たる事務所の所在地)

温泉採取者の氏名
(個人にあっては、名称及び代表者の氏名)

内容についての問い合わせ先電話番号

平成 年12月31日現在の温泉の現況は、下記のとおりです。

記

温 泉 名		温 泉 出 地				
温泉を利用する権利を有する者	住所 <small>(個人にあっては、主たる事務所の所在地)</small>					
	氏名 <small>(個人にあっては、名称及び代表者の氏名)</small>					
温泉のゆう出地の所有者	住所 <small>(個人にあっては、主たる事務所の所在地)</small>					
	氏名 <small>(個人にあっては、名称及び代表者の氏名)</small>					
温泉利用許可年月日及び指令番号	年 月 日、長野県指令	第	号			
温泉採取許可年月日及び指令番号	年 月 日、長野県指令	第	号			
可燃性天然ガス濃度確認年月日	年 月 日					
温泉の状況	ゆう出量	ℓ/分 (年 月 日測定)				
	温 度	ゆう出口 ℃ (年 月 日測定 気温 ℃)				
	水 位	m (年 月 日測定)				
	ゆう出の状況	自然ゆう出 ・ 掘削自噴 ・ 動力揚湯 ・ 休止 ・ 枯湯 (源泉深度 m)				
動力の状況	動力の種類	出力 kW				
利用の状況 <small>(使用量は、1分単位で記入すること。)</small>	利用していない場合	利用している場合				
	理 由	用 途 別	自己使用	分 湯	そ の 他	
		浴 用	施設数	か所	か所	か所
			使用量	ℓ	ℓ	ℓ
		飲 用 使 用 量	ℓ	ℓ	ℓ	
		そ の 他 の 使 用 量	ℓ	ℓ	ℓ	
使 用 量 計	ℓ	ℓ	ℓ			
分 析 の 有 無	有 (泉質 分析者名 分析年月日) 無					
備 考	内容を備考欄へ具体的に記入					

(備考)「ゆう出の状況」及び「分析の有無」欄は、該当するものを○で囲むこと。

法人にあっては、
主たる事務所の所在地、
名称及び代表者の氏名

番地まで正確に記入

知事から許可を
受けた年月日、番号

どちらか一方に記入

掘削深度を記入

記入上の留意事項

- 1 この報告は、採取している源泉ごとに作成してください。
現在枯渇している源泉は、「温泉採取廃止報告書」を提出してください。
- 2 温泉の現況は、平成 年 12 月末の状況を測定して記入してください。
これができないときは、一番最近の状態（1年以内のもの）を正確に記入してください。
- 3 ゆう出の状況は、次の区分に従い、報告書の該当するところに○印をしてください。

自然ゆう出	地中から自然にゆう出している。
掘削自噴	温泉をゆう出させるため、土地掘削を行い自噴している。
動力揚湯	動力装置により揚湯している。
休止	現在採取していないが、揚湯ポンプを設置することにより温泉を採取できる。または、自噴の状態を止めている。
枯渇	枯渇している。（源泉井戸内に温泉が溜っていないか、または溜っていても揚湯不可能な場合）

- 4 分析の有無は、該当するところに○印をし、泉質、分析機関の名称、分析年月日を記入してください。
なお、分析結果が、前回の分析から10年以上経過しているものは、温泉成分分析機関として登録を受けている者の分析を受けてください。（登録分析機関は、各保健所にお問い合わせください。）
- 5 温泉の採取をやめた場合は、「温泉採取事業廃止届」を提出してください。